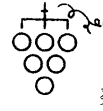




# アドナイ刊

主の山に備えあり (創世記22章)

発行 社会福祉法人 十字の園


 ケアハウス アドナイ館  
 細江デイサービスセンター  
 発行責任者 鈴木 淳司

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川7437-8

電話 (053) 439-1200 (代表)

439-1212 (デイ直通)

FAX (053) 439-1211

郵便振替 00890 - 9 - 125741

E-mail: hm-adonai@orion.ocn.ne.jp

URL: [http://www.jyuji.or.jp/hamamatsu\\_city/adonai/](http://www.jyuji.or.jp/hamamatsu_city/adonai/)



❀
アドナイ館 夏祭り2019
❀
2019年7月20日

## ♣ みおつくし ♣

五時起床。朝の目覚め。布団の中で鼻からお腹の中につばい息を吸い込み一・二・三、口からゆつくり息を大きく吐く四・五・六・七・八・九・一〇。一〇回繰り返す。次に寝たまま足首をぐるぐる一〇回回す。それから手足を仰向けでブラブラ・バタバタ。両手をグーパーグーパー一〇回。指を一から五まで折る。六から一〇で伸ばす。五回。ベッドから起きたら窓を開けて太陽を見て深呼吸。冬はまだ暗いので深呼吸だけ。着替えて、排尿、洗顔、朝食支度、食べてラジオ体操、排便。片づけをして出発進行。車の中で大きな声で「おはよう。行って来ます」と叫ぶ。三五分で職場に到着。玄関で「おはよう」と大きな声で挨拶。部屋の換気をして、昨日の書類に目を通す。七時、集会室の仏間に行つて手を合わせる。利用者さんの食堂に行く。「おはよう」「元気?」「お変わりないですか」と声掛けする。皆さんの食事が終わると自室に戻りお茶を一服。「今日も一日健康で働けますように」私の一日の始まりです。たまにしんどくなったら大きく深呼吸。七〇歳の喜寿を目前にして私の毎朝の健康法です。良かったらお試しあれ。

K・K



# 「平和への願い」

施設長 鈴木淳司

近頃のニュースを聞いた際、私は、城田すず子さんを思い出します。城田さんは、自ら従軍慰安婦であったことを告白した方です。直接お会いしたことはありませんが、その著書「マリアの賛歌」を読ませていただき、

戦争の悲惨さとは、戦場だけに

城田さんは、戦時中、親の借金を負い、自分自身の身を削り、家族のために戦場で生きていました。そうして迎えた戦後は、社会からの偏見による生き辛さの中で、自暴自棄になりながら生きて行かなくてはならず、城田さんの戦場は続いていきました。城田さんが、キリスト教の更生施設に入り、聖書に出会い、そして、次の聖句に出会いました。

ルカによる福音書一章四十八節「この卑しい女をさえ、心にかけてくださいました。今から

のち代々の人々は、わたしをさ

この聖句で、自分を責め続けていた事から、赦されて、自分らしく生きようと希望を持つた

今年、このローズンゲン（日々の聖句）の年間聖句は、「平和を

その中で私たちにできること

## 地域のひろば

聖隷厚生園は讚栄寮、信生寮、ナルド工場の三つの事業所からなっています。聖隷厚生園施設理念「一人

一人があるべき姿に立帰るために一人の生命が真にまもり生かされるために、そして地域のために」の実現をめ

第一種更正施設。ナルド工房は、就職する上で必要な知識・技能・マナー等の習得を目的にサービスを提供する

所が新たに加わり支援の輪が広がっています。一つ目は、聖隷ヘルパーセンター浜松北です。利用者の傍に寄り添い命を支えていく役割を担っていく施設を目指しています。二つ目は、訪問看護ステーション細江です。厚生園と協力しながら身体・精神に障がいをお持ちの方に支援

## 聖隷厚生園を 紹介します

をお届けしています。三つ目は、聖隷ケアプランセンター細江です。介護認定を受けられた方が、安心して在宅生活を送れるように、ご本人・ご家族と一緒にサービスを考えます。新たな仲間も加わり、より地域の皆様のお力になれるように今後もがんばって行きたいと思えます。

聖隷厚生園では、地域の皆様

今年度のテーマは、新時代「励輪」（れいわ）です。令和の新しい時代を迎え、その始まりに一層、励ましの輪を広げられるようにとの思いを込めました。是非、皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。（淳司）



「就任のご挨拶」  
社会福祉法人慈悲庵  
法人本部在宅サービス事業統括責任者 影山浩二

このたび社会福祉法人十字の園の評議員を拝命しました影山と申します。社会福祉法人慈悲庵で業務執行理事をしております。どうぞよろしくお願い致します。

私と十字の園とのご縁は二五年前に遡ります。私は大学で福祉を学ぶことなく、慈悲庵に就職しました。福祉や介護のことを何も知らなかった私に対して

当時の慈悲庵理事長が、「一流の施設を見て勉強してきなさい。」と、十字の園での三ヶ月間の研修を調整して頂いたのがきっかけでした。身体的な介護の経験はほとんど無く、シート交換さえうまくできなかった私を受け入れ、丁寧に根気強くご指導くださった十字の園の皆様には感謝の気持ちしかございません。

この研修で特に印象に残ったことは、多職種で個別ケースの検討・実行・評価を行う場面がとて多かったです。入所者

お一人お一人を尊重し、生活の質を追及しようとする職員の間意識とチームメンバーの総意に基づいたケアの実践は私にとつて大きな学びとなり、ケアチームを作り上げていく上でいつでもお手本としていて、いわば私にとつてのオリジナルとなつていきます。

ここ数年、社会福祉法人への風当たりが強くなっていますが、チームとして一人のニーズにしっかりと向き合い、課題解決に向けた取り組みができる組織であれば、いつの時代でも人々から必要とされる組織であり続けられるのだと、当時を思い出しながらさらにその思いを強くしました。多くの学びを頂いた十字の園の皆様にも少しでもご恩返しができるよう、評議員としての任務を果たしていきたいと思



福祉情報 - その(141) -

\*国会へ変化迫る

七月二一日に行われた参議院議員選挙で重度の障害者二名が当選した。国会は障害者差別禁止法の対象外。コミュニケーションにも障害がある二人を迎え入れるにあたり「伝統に甘えた古い体質を変えるいい機会」と期待する声も多い。

難病・ALSを抱える船後氏は「私という重度障害者の目を通して、必要な支援とは何かを訴え、さらには理想的な制度を創る努力をしたい」と話した。

\*縦割り排した制度枠組み検討

厚労省は、地域の生活課題に統合的に対応するため、縦割り制度を再整備する新たな制度枠組みの創設を検討するとしている。福祉専門職による今後の対人支援には「従来の具体的な課題解決」と合わせて「つながり続けること」を目的としたアプローチが求められると指摘。これらを実現するためには「断らない相談支援」「参加支援」「地域におけるケア・支えあう関係性の育成支援」の三つの支援機能が必要としている。

(シルバー新報より)

たべもの - 厨房より -  
あれこれ

チョコレートについて  
～食べるチョコレート編～

チョコレートは当初飲み物として楽しまれていました。しかし、1870年ごろにイギリスで油分の多いカカオのペーストに砂糖を加え固めた『食べる』チョコレートが発売されましたが、これは苦みが強いものでした。1880年ごろにスイス人のダニエル・ピーターが苦みの強かったチョコレートにミルクとココアバターを加えることに成功し、現在広く愛されている『ミルクチョコレート』の原型が誕生しました。





看護師仲間「ささゆり会」

# ケアハウス

わたしの夢  
わたしの楽しみ  
わたしの〇〇

「現在も引き継がれている

聖隷の良い時代」

入居者 地代 弘子

昭和二七年、終戦後の食糧難と空腹の聖隷保養農園で朝五時に起床して、眠い目をこすりながら学園の山道を走って病室に急ぐ。病室は一軒家の個室(四畳半)で、木製のベッドに半畳の畳を二枚並べて敷く。床頭台と尿器台、半間の押入れとトイレ、昼も夜も窓は開けっ放しで、

雨が吹き込む時だけ閉める。夏は蚊帳をたたむ。麻で出来ているので大きくても重い。柱に釘を打ってそこに蚊帳の環をかけてきれいにたたむ。患者さんの洗面介助は、遠方から水でいっぱいバケツを両手に下げて足場の悪い坂道を下駄履きで運ぶ。洗面を済ませ、含嗽瓶、お箸、スプーン、箸呑み、湯呑みを洗面器に入れて洗う。七時になると全体に朝の礼拝がマイクから流れる。讃美歌を歌って聖書のお話を聞きお祈りします。一日が始まるのです。

結核の治療薬のない時代は大気安静栄養療法。栄養士は少ない食材で手を替え品を替え、目先を替えてスープ一杯でもいいから口から美味しく食べて体の中に入れて血となり肉となり薬となるように工夫する。炊事人は朝三時に出勤して朝食の準備をする。ご飯に味噌汁、向付け普通食の食べられない人には、

お粥や軟采を作る。患者さんと全職員、家族、学生、みんな同じ物を食べた。食事は両手にお膳を持って患者さんの許に配膳をする。雨や風が吹いていると人がやっと通れるくらいの細い坂道を、雨合羽を着て頭にはピーピー傘を被って白衣は赤土の跳ね上がりで裾模様。焼き海苔は両面を焼くものではない。二枚重ねて焼いて、ハサミで八等分に切る。それを小皿の下に挟んでおいても歩いているうちに風で吹っ飛んでしまう。

だっ広い板の間教室、何も揃っていない所での看護教育だった。部屋も昼間は教室、夜は机と椅子を廊下に片づけて寄宿舎になる。日曜日は早起きをして布団を片付け、雑巾で床の拭き掃除をし、山から手折って来たお花で礼拝堂を飾った。聖書と讃美歌、それと薄っぺらのお座布団を小脇に抱えて山を駆け上って聖日礼拝を守った。

私を愛するように隣りの人を愛しなさい。精神、知識、技術を出し合って少しずつ病院を作って行った。その面白さ、良さは現在も引き継がれている。

## ケアハウス日誌

7月

5 芳樹会総会

10・24 買い物ツアー

12 映画会

13・27 読書会

17 職員勉強会

メガネ相談

18 ビューティーヘルパー

防災訓練

19 フラワー教室

20 アドナイ館 夏祭り

26 レコード鑑賞会

8月

2 フラワー教室

9 映画会

14・28 買い物ツアー

15 ビューティーヘルパー

21 移動図書

職員勉強会 メガネ相談

22 防災訓練 合同防災会議

27 口腔ケア

筋力トレーニング(週二回)  
カラオケ(週二回) プンネ  
メソッド(月二回)

デイサービス

『デイサービスの夏祭り行事』

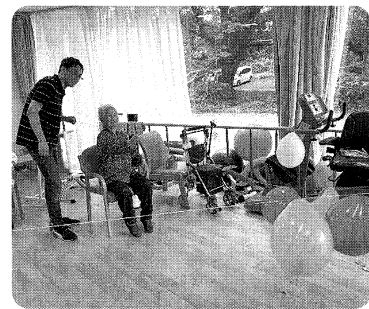
介護職員 平山遥香

今年の夏は、梅雨が長く、晴れ間の短い夏でしたね。夏といえばー夏祭り。デイサービスでは、七月二日月曜日から七月二四日金曜日までの三日間、夏祭り行事を行いました。三日間ともゲームを行い、ゲームが終わった後にアイスクリームをみなさんでいただきました。



上手くすくえました。

ゲームは二種類！まずひとつは「やり投げ式機能訓練」からヒントをもらい、やりを投げて風船を割るゲームを考えました。風船は一人二個の配分で、やり投げは二回行いました。風船が割れると、「パン！」という大きな音が出て、みなさん最初は



風船割り 当たるかな？

驚かれていらつしゃいました。また一つ割れても、もう一つが割れなかったりすると「あく力が足りない！」と悔しそうな方もいらつしゃいました。ですが回数を重ねるにつれてだんだんとコツを掴んでこれ、風船の割れる爽快感に笑顔が見られたり、手をたたいて喜んでいらつしゃいました。もうひとつ、つかみとりゲームではひよこや金魚のフィギュアをスプーンですくい、重さを競いました。どちらもわたしのしんでいただけたようで何よりでした。ゲームにはお菓子の景品も付いていましたよ。



ねらいを定めて…

たのしいゲームが終わった後は細デイのアイスクリーム屋さんを開き、みなさんにアイス券をお配りしました。バナナ、チョコの二種類のアイスと、チョコ、キャラメルの種類のスィーツを組み合わせて、ご自分の好きなアイスを作っていたできました。自分の選んだアイスが手元に届くのを心待ちにされ、召し上がると「おいしい！」と喜んでいらつしゃいました。アイスクリームは暑い夏にぴったりですね。

夏祭りの行事も毎年行っていますが、その年の担当職員で話し合い、内容を考えています。今年はゲームとアイスクリーム屋さんでしたが、来年の夏祭りはどんな内容になるのか…。また楽しみにして下さいね！

《(♪ デイサービス日誌 ♪)》

	レクリエーション				
	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
7月	七タレク	個別グループ活動	フリーレク(集団)	夏祭りレク	フリーレク(誕生会)
8月	個別グループ活動	フリーレク(集団)	個別グループ活動	フリーレク(誕生会)	個別グループ活動

《(☆ デイサービスの動き ☆)》

【デイ会議】	【出張】	【サービス担当者会議】	【実習】	
7/25 8/29		7/1, 7/5, 7/12, 7/25, 7/26 8/19, 8/20, 8/26 (川端、宮道、夏山)		ボランティア(傾聴) 池田様 ボランティア(芸能等披露) 7/5, 8/15 バルーンアートヒロ 7/1, 8/20 横山様のフラワー アレンジメント 7/8 プンネメソッド
				7/11 GGs 7/25 歌声広場 8/21 ギター演奏

新職員紹介



鹿野 勝幸
S46年12月4日生
出身地 静岡県
部門 ケアハウス
事務員

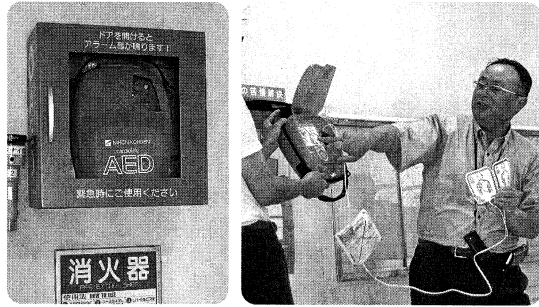
十字の園に就職して一九年。浜松、法人、松崎で経験を積んできました。この度アドナイ館で働く事になりました。どうぞよろしくお願いいたします。

「防災の日」

アドナイ館では毎年九月一日の「防災の日」に合わせて、総合防災訓練を行っています。

地震想定避難訓練の後、AEDの講習を受けました。業者の方から詳しく説明していただき、いざという時の備えがあることに安心感を覚えました。

お昼は、非常食をいただきました。入居者四〇名が参加し、防災リーダーさんを中心に皆さん協力して充実した防災訓練を行うことが出来ました。



曳馬野

エンジェル
天使の 喇叭は白く 連りて

盛夏の夕を 音なく睡る

春海

ここしばらく 姿無き人 食堂に

心にぼっと 明りがついて

香代子

空青く 白雲走り 若葉らは

金茶みどりと きらめきやまず

佐和子

耳よりな話

「高齢者の入浴効果」



日本の文化ともいえる入浴には、高齢者にとっても良いことがたくさんあります。

① 清潔を保つ

雑菌の繁殖を防ぐ汗などを流し、かぶれや湿疹を防ぐ。

② 新陳代謝の促進

体が温まると血行が良くなり、冷え性や関節のこわば

りが解消する
③ 安眠効果
心地よい疲れが訪れ、副交感神経が刺激され自然な眠りにつくことができる

④ リラックス・気分転換
湯船につかる開放感が全身をリラックスさせる

高齢者にとって入浴は生活の質を高める上で欠かせないものです。体に負担のないように注意しながら、ゆつくりくつろいで入浴を楽しみましょう。(K)

あとがき

アドナイ刊一五七号をお送りします。台風一五号の被害に遭われた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。今なお、多くの方々が停電や断水など不自由な生活を余儀なくされておられると報道されています。昨年一〇月には浜松も台風による大規模な停電に見舞われ大変苦労いたしました。今回はそれを大きく上回る厳しさとお察しします。一刻も早く安らかな日常に戻れることを、ただただお祈り申し上げます。(K)

献金感謝

Table with 2 columns: 献金月分, 献金金額. Includes 7月分 (2件 25,000円), 8月分 (1件 10,000円), 合計 (3件 35,000円), 4~8月累計 (341,000円)

「献金者ご芳名」

(敬称略)

\*7月\* 佐藤房江、坂下愛子

\*8月\* 吉田敬次

皆様のお支えに心より感謝申し上げます。

募集 アドナイ刊へのご感想をお寄せ下さい。(編集委員会)